

「呼値の単位の一部見直しについて」に寄せられたパブリック・コメントの結果について

当取引所では、呼値の単位の一部見直しについて、その要綱を本年1月29日に公表し、2月28日までの間、広く意見の募集を行いました。本件に関してお寄せいただいた主なコメントの概要及びそれに対する当取引所の考え方は以下のとおりです。

番号	コメントの概要	コメントに対する考え方
1	今回の呼値の単位の縮小対象となる銘柄数は限定的であるが、呼値の単位の縮小によるシステム処理件数等の増大を考慮したうえで実施していただきたい。	呼値の単位の見直し実施時期にあわせ、株式・C B売買システムの1日あたり注文件数に係る処理能力の増強を実施する予定です。
2	呼値の単位の見直しのほか、制限値幅についても変動率に応じた値幅に修正していただきたい。	呼値の制限値幅については、全体的なバランスと分かりやすさを考慮したうえで、次世代システムの稼働時(2009年後半を予定)から変更する予定です。(詳細につきましては、2006年9月26日に公表した「次世代システム構築の計画概要書」をご覧ください。)
3	呼値の単位を縮小することによって、相場報道システムを通じて配信される一般気配情報の知得可能値幅が縮小することから、現状どおりの呼値の単位を維持していただきたい。	相対的に1値刻みの比率が大きい価格帯における呼値の単位の一部を縮小し、木目細やかな価格形成が可能な市場環境を提供することが適切であると考えております。

提出者：1 = モルガンスタンレー証券(株)、2 ~ 3 = 個人投資家

以上